

都市計画演習 5班

全集中！ π 型の呼吸
～無限?オンデマンド編～

班長： 加藤優弥 副班長： 松場拓海
資料DB： 中澤光希 オンライン接続： 八木原愛乃
渉外： 畑山公希 西川絵里香
高野駿 関梢子

担当教員：谷口守 TA：安藤慎悟

movie

1

1. 問題意識

2

問題意識 背景・目的 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

問題意識

- 空間デザイン論 (同時双方向)
- 空間デザイン論 (同時双方向)
- 社会学英語 (同時双方向)
- 社会学英語 (同時双方向)

秋Aモジュール
金曜日の時間割(例)

「数理統計学」
(金1・2限)の授業、
面白そうだな…

これオンデマンド型
だけど…
諦めるか…

3

問題意識 背景・目的 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

筑波大学の魅力

▶ 他主専攻や他学類の
講義を受講できる

時間割による制約

これオンデマンド型
本巻ほど…

“ π 型の呼吸が
は可能か?”

基礎科目 専門基礎科目 専門科目
(初年次学修ガイド2020より引用)

・幅広い学問領域での学習
・多様な専門分野の掘り下げ

4

2. 背景・目的

5

問題意識 背景・目的 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

背景

新型コロナの感染拡大 → オンライン授業の活用

大学においては…

対面授業の制限

オンライン授業を開始

オンラインならではのメリットも

どこでも受講可能

オンデマンド型なら
いつでも受講可能

新しい履修登録方法によって取りたい授業が取れるようになるのでは？

6

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

目的

社会工学類開設から現行の完全オンデマンド授業に限り
他の授業と
▶ 曜時間が重複していても履修ができるようにする

授業形態
→ オンデマンド型
かつ
成績評価
→ レポート or 小テスト

➡ 現在の状況を把握し、生じ得る問題を解決する



7

7

実習全体の流れ

- 1 問題意識
- 2 背景・目的
- 3 先行事例調査
- 4 ヒアリング
- 5 アンケート
- 6 導入にあたっての問題点
- 7 問題点の解決に向けて
- 8 結論

8

8

実習全体の流れ

今回発表

- 1 問題意識
- 2 背景・目的
- 3 先行事例調査
- 4 ヒアリング
- 5 アンケート
- 6 導入にあたっての問題点
- 7 問題点の解決に向けて
- 8 結論

8

9

3. 調査・分析の手順



10

10

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

調査・分析の手順

他大学の事例調査
➡ 実現可能性の検証

ヒアリング調査
➡ 教員側の状況把握

アンケート調査
➡ 学生側の状況把握
➡ 教員側の懸念検証



10

11

4. 先行事例調査



12

12

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

完全オンデマンド授業の事例 (国内)

調査目的…他大学の完全オンデマンド授業の扱いを調べることで、我々の提案が現実的か確認する。

事例

- ・早稲田大学
2007…857 科目 2021…1315科目
→コロナ前からオンデマンド授業を積極的に活用
曜時限有と無の授業がある
- ・立教大学…完全オンデマンド授業は重複して履修可
- ・東京外国語大学…完全オンデマンド授業は曜時限無

12

13

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

完全オンデマンド授業の事例 (海外)

ハーバード大学
214のオンラインコース開講
・Pythonによる人工知能の紹介
・宗教・紛争・平和
・高次元データ分析 など

オックスフォード大学
172の'online - flexible' course 開講
・哲学入門
・動物の行動
・Creative Writing 上級 など

▶ ほぼすべての科目がオンデマンド型
▶ アクセス期限内ならいつでも受講可能

13

14

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

他大学の事例を踏まえて…

コロナ前から完全オンデマンド授業が活用されている

国立・私立/文系・理系関係なく活用されている

➡ 筑波大学でも活用可能では！？

14

15

5. ヒアリング調査

全集中！
πの野郎
研究の力

16

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

ヒアリング調査

- ・10/21 繁野麻衣子先生
(社会工学類カリキュラム委員長)
- ・10/25 秋山英三先生 (理工学群学群長)




16

17

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

ヒアリング内容について

Q1: 時間割が固定されていないことで生じる問題は？

Q2: オンデマンド型授業を今後も活用したい？

17

18

問題意識 背景 調査・分析 **ヒアリング** アンケート 最終発表

ヒアリング調査の結果

〈繁野先生〉

Q1: 時間割が固定されていないことで生じる問題は？

学生が授業を履修しすぎて、成績が悪化することや単位を落とすことが心配…。テストの日程や教室の確保に関しても問題がある。

うーん…

18

19

問題意識 背景 調査・分析 **ヒアリング** アンケート 最終発表

ヒアリング調査の結果

〈繁野先生〉

Q2: オンデマンド型授業を今後も活用したい？

どちらとも言えないです…。意識の高い学生と低い学生の差が開く・学生が先生に質問しづらくなっている・先生と学生の距離感が掴めないなどの課題がある。

うーん…

19

20

問題意識 背景 調査・分析 **ヒアリング** アンケート 最終発表

ヒアリング調査の結果

〈秋山先生〉

Q1: 時間割が固定されていないことで生じる問題は？

受講者数の増加
↓
教員の成績評価の負担増加

こういう問題も…

20

21

問題意識 背景 調査・分析 **ヒアリング** アンケート 最終発表

ヒアリング調査の結果

〈秋山先生〉

Q2: オンデマンド型授業を今後も活用したい？

・PF(合否)で評価する授業
実施しやすい
・教室の制約で他学類の授業を取れないという問題を解決できる
など
以上のようにメリットが多いので特に1年生の大教室の授業で今後も活用していきたい

こういう問題も…

21

22

6. アンケート調査

全城中1
π型の呼吸
実行計画

23

問題意識 背景 調査・分析 **アンケート** 最終発表

アンケート調査

事前調査 2020年度春AB都市計画実習ライフスタイル班 最終発表・レポートより引用

知識授与型の科目はオンライン活用可能

教員が一方的にすでに十分確立されている知識を与える授業

現行1年生の授業にオンデマンドが多い

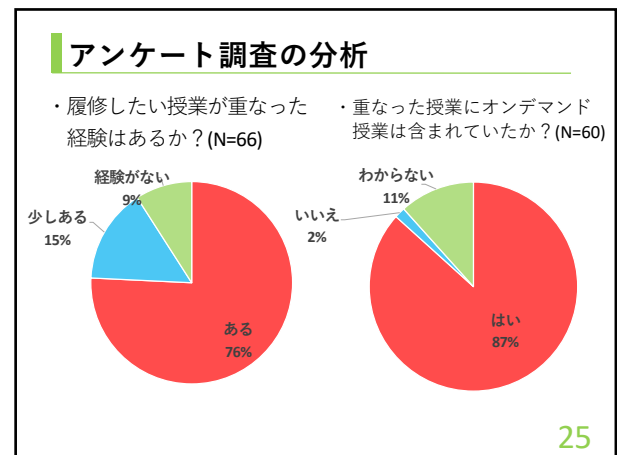
23

24

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表	
アンケート調査	
調査名	1年次の履修状況に関する調査
目的	・科目重複の実態調査 ・オンデマンド授業の実態
調査対象	社会工学類 1,2年生
調査方法	Google Forms
実施期間	11/1~11/12
有効回答数	66(回答率:31%) 1年生:21(回答率:18%) 2年生:45(回答率:35%)

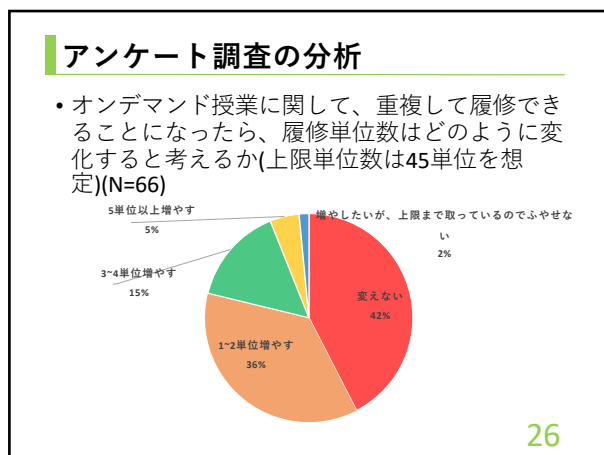
24

25



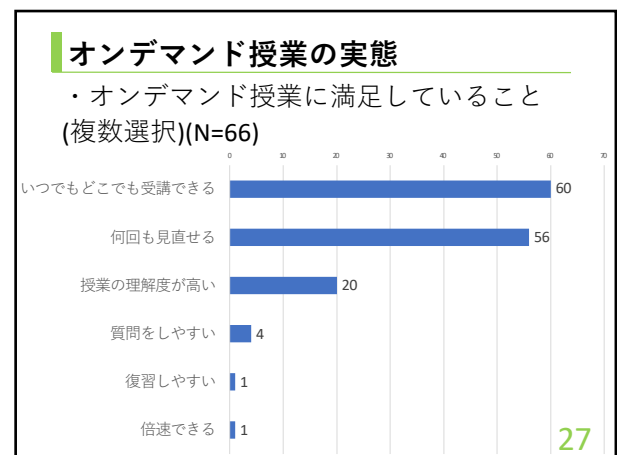
25

26



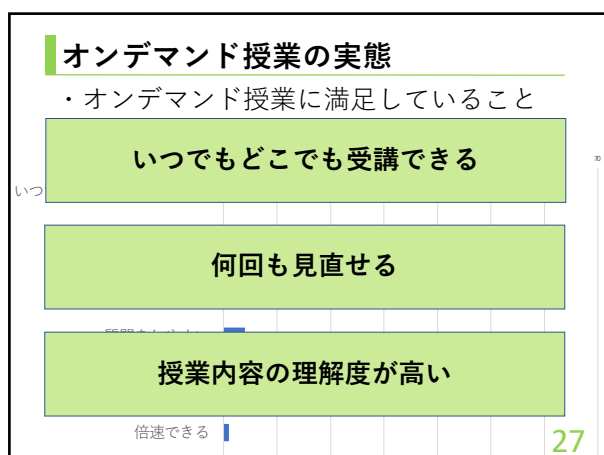
26

27



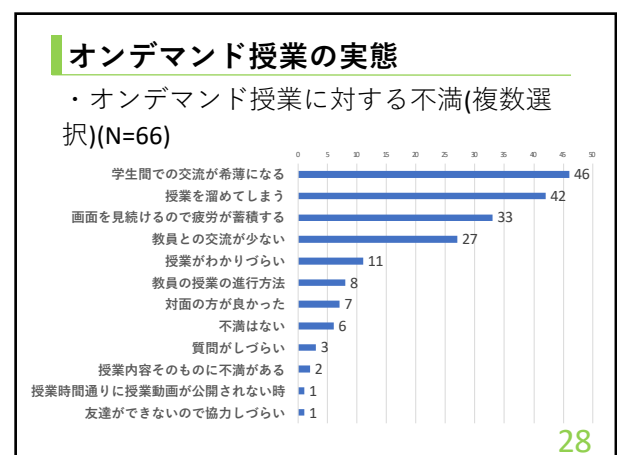
27

28



27

29



28

30

オンデマンド授業の実態

- ・オンデマンド授業に対する不満(複数選)

学生間、教員と学生の交流が希薄になる

画面を見続けるので疲労が蓄積する

授業を溜めてしまう

不満はない

画面を見続けるので疲労が蓄積する

28

31

アンケート分析を踏まえて

履修したい科目が重複した経験がある人が多い

私たちの提案には一定の需要がある

重複履修が可能になっても、
極端に履修数を増やす人は少ない

ヒアリングで明らかになった懸念は杞憂？

オンデマンド授業そのものの問題点はまだまだある

授業を溜めてしまう、交友関係、・・・

29

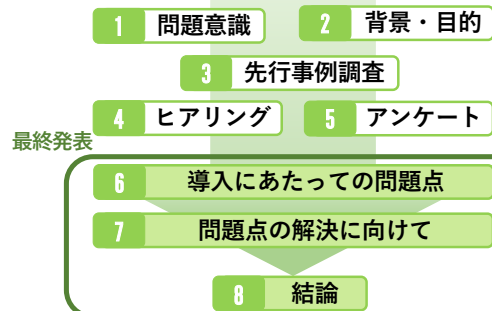
32

7. 最終発表に向けて



33

実習全体の流れ



31

34

問題意識 背景 調査・分析 ヒアリング アンケート 最終発表

最終発表に向けて

- ◆社会工学類における重複が可能科目の対象拡大

→社会工学類の完全オンデマンド授業を確認

→具体的な時間割例を提示

- ◆オンデマンド授業に関する問題解決

→今回挙がった不満な点について更なる調査・分析

→解決案を提示

32

35

参考文献

- 1) 早稲田大学：オンデマンド授業。
<https://www.waseda.jp/inst/ches/ctlt/teaching/ondemand/>。(最終閲覧2021.11)
- 2) 立教大学：履修登録についての質問。<https://spirit.rikkyo.ac.jp/odc/SitePages/faq.aspx>。
(最終閲覧2021.11)
- 3) 東京外国語大学：オンデマンド型授業の履修登録について。
http://www.tufs.ac.jp/student/NEWS/education/20200918_1.html。(最終閲覧2021.11)
- 4) HARVARD UNIVERSITY：Harvard Online Courses。<https://online-learning.harvard.edu/>。
(最終閲覧2021.11.12)
- 5) UNIVERSITY OF OXFORD：Flexible, short online courses
- 6) Flexible, short online courses | Oxford University Department for Continuing Education。
(最終閲覧2021.11.12)
- 7) 2020年度春AB都市計画演習ライフスタイル班：君たちはどう学ぶか。
<https://www.sktsukuba.ac.jp/~toshiw3/WWW/jisshu/jisshu1/report/2020/g2/index.html>。
(最終閲覧2021.11)
- 8) 文部科学省：オンライン授業に係る制度と新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査（令和3年7月7日）。
<https://www.mext.go.jp/kaigisiryō/content/000125290.pdf>。(最終閲覧2021.11)

33

36